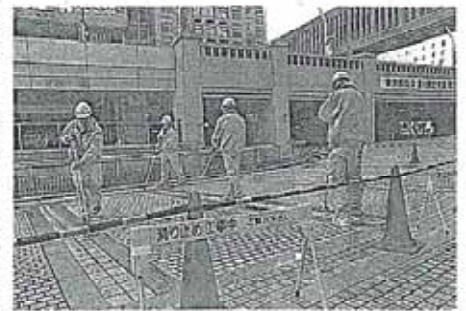


都で「防滑」工法を実施

●防滑業振興協会●



防滑業振興協会(清水雅雄理事長)が中心に取り組んでいる床面や歩道などを滑りにくくする「防滑」の工法が東京都で採用され、都民広場約730平方メートルを対象に施工された。写真。

昨年8月には、国土交通省が、バリアフリーに配慮した建築設計標準を改訂し、滑り抵抗係数(CSR)0.4以上の推奨値を示した。改訂後、全国で滑り抵抗係数の測定や試験施工などを行っている。

今回、防滑工法が採用された工事は、東京都財務局発注の都庁舎(24)都民広場右貼舗装防滑工事で、CSR0.5以上を確保した。施工は竹田工務店(新宿区)が担当。

